

# かながわの 交通

2017 9月号

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣総理大臣賞）  
一般部門B：歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの  
**身につけよう  
命のお守り  
反射材**



芙蓉と横浜国際総合競技場

(横浜市港北区)

  
**二輪車運転気をつけて！**

ヘルメットはもちろん、胸部プロテクター・エアバックを着装しましょう。

定期開催 二輪車運転講習で「安全運転の知識と技能」を習得しましょう。  
神奈川県警察～セーフティライダー・スクール（SR）  
二輪車普及安全協会～グッドライダーミーティング（GM）

警察本部・警察署では警察官を派遣して企業や学校などで講習会を開催しています。  
問い合わせは（公財）神奈川県交通安全協会まで

○県内の交通事故発生概況（平成29年8月末現在） ○県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
平成29年		18,441	86	21,884
平成28年		17,643	81	21,074
増減数		+798	+5	+810
増減率		+4.5	+6.2	+3.8

	総 数	男	女
県人口	9,161,297	4,571,211	4,590,086
免許人口	5,617,716	3,226,183	2,391,533
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

(県人口は平成29年8月1日、免許人口は平成29年7月末現在)

# 平成29年度秋の全国交通安全運動

## ～ 9月21日(木)から9月30日(土)の10日間 ～

### 目的

すべての県民を交通事故から守るために、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

### スローガン

- 安全は 心と時間の ゆとりから
- 高齢者 模範を示そう 交通マナー

### 重 点

- 1 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶
- 5 二輪車の交通事故防止



## 9月30日は「交通事故死ゼロを目指す日」 —《交通安全イベント》—

- 日 時：9月21日(木) 午前10時から
- 場 所：横浜市西区みなとみらい3-5-1  
MARK IZ みなとみらいガレリア
- 主 催：神奈川県警察
- 概 要：秋の全国交通安全運動の初日に、当該運動を広く周知させるとともに、子どもや高齢者をはじめとする交通事故を未然に防止することを目的としてキャンペーンを実施します。
- 内 容：クイックステップ（俊敏性検査）、自転車シミュレーター体験手作り反射材作成、白バイ体験乗車、ミニ白バイ展示



(ピーガルくん)



(ゼロティッシュ)

## …… 高齢者交通事故多発地域の指定について ……

県内の平成29年上半年の交通事故は、発生件数、死者数、負傷者数とともに昨年同期に比べ増加傾向にあり、高齢者(65歳以上)の関係する交通事故も増加しています。

特に、全ての交通事故に占める高齢者が関係する交通事故の割合(構成率)は、高齢者人口構成比(高齢化率)を上回るペースで増加しており、引き続き高齢者が関係する交通事故の防止を進める必要があります。

神奈川県交通安全対策協議会(会長 黒岩神奈川県知事)では、平成29年上半年における高齢者が関係する交通事故の発生状況に基づき、

- 高齢者人口1万人当たりの高齢者が関係する事故の発生件数が、県内平均(19.9件)より30%(25.9件)以上多い

又は、

- 全交通事故に占める高齢者が関係する事故の割合(構成率)が県内平均(32.2%)より10ポイント(42.2%)以上高い

次の11地域(3市3区5町)を9月1日付で「高齢者交通事故多発地域」に指定しました。

### 高齢者交通事故多発地域

横浜市西区・中区、相模原市中央区、小田原市、三浦市、厚木市  
中井町、松田町、開成町、箱根町、愛川町





## 第52回交通安全子供自転車全国大会

8月9日(水)、全国47都道府県の代表選手が東京ビッグサイトに集合して「第52回交通安全子供自転車全国大会」が開催されました。

神奈川県からは、7月1日の「第48回交通安全こども自転車神奈川県大会」で4年ぶり2度目の優勝を飾った厚木市立清水小学校チームの佐藤なつみ(6年)さん、長谷川花江(6年)さん、志水勇大(6年)さん、井上夢来(6年)さんの4選手が出席しました。当日は、安全協会はじめ家族や学校関係者など大勢が駆けつけ、選手を激励しました。

大会は各種目減点方式で、午前9時から「交通ルールなど」の学科テスト、午前11時から昨年優勝の静岡県チームから実技テストを開始し、本県チームは44番目に一番員の佐藤選手がスタートしました。

選手からは、学科テストでは、文章の微妙な違いを読み取るのに戸惑ってしまったとの感想があり、実技テストでは、安全走行はクリアしたもの、技能走行は全国大会独特の雰囲気もあってか、ところどころでミスをしてしまい実力を十分発揮できませんでした。

結果としては、全国大会のレベルの高さの前に、団体、個人とも入賞を果たすことはできませんでしたが、来年に向けて健闘を誓いました。

選手、関係者の皆様お疲れ様でした。



### ●●●●● 第52回交通安全子供自転車全国大会観戦記 ●●●●●

神奈川県警察本部交通総務課交通安全教育隊 巡査長 平田彩奈



私は、第52回交通安全子供自転車全国大会に行き、神奈川県代表である厚木市立清水小学校の応援をしてきました。

競技は学科テストと実技テストがあり、「学科は難しかった。」と皆伏し目がちに話していました。しかし、実技テストのときは、応援に来ている指導員や学校の先生、家族に元気よく挨拶をすると、気持ちを切り替えたように実技コースに向かいました。

私は全国大会前に訪れた練習を思い出し、「苦手なところはできるようになったかな。大会の雰囲気に圧倒されて実力が出せなくならないかな。」などと考えながら選手を見ているうちに、皆の実技テストが始まりました。全国大会という大きな会場、雰囲気から、緊張で力が入ります。ミスをしてしまったのは、選手本人が一番よく分かっており、競技を終えた瞬間に悔しくて涙する選手もいましたが、小さなミスが重なっても、このチーム最大の武器であるチームワークの強さで、最後まで奮闘しました。

指導員の方からも、「このチームはとても仲が良く、チームワークが良い。」と聞いていましたが、私から見ても、必ず仲間の出番には精一杯の声と笑顔で応援し、ゴールすると健闘した選手に最大の拍手を送り、駆け寄る姿は確かにその通りだと感じました。

悔しくも入賞は逃しましたが、県の代表として大きな目標に向けて仲間と練習をしたことは、選手たちにとって良い経験になったと思います。

選手たちには、この大会を通して身についた自転車の交通ルールやマナーを率先して守り、後輩に引き継ぎ、地域における自転車の安全利用の模範となって、交通事故防止の輪を広げてほしいと思いました。

### /// ~ 第39回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会 ~ ///

平成30年交通安全こども自転車神奈川県大会の予選会を兼ねて



足柄交通安全協会と松田警察署の主催により、8月24日(木)南足柄市体育センターアリーナにおいて、「第39回自転車の安全な乗り方足柄上地区大会」が盛大に開催されました。

大会は1市5町(南足柄市、松田町、開成町、大井町、山北町、中井町)の小学校から、22チーム88人の児童が参加して行されました。

午前9時20分から選手入場に続いて、開会式を行い、優勝トロフィー返還、足柄交通安全協会大谷副会長、松田警察署大泉署長の挨拶、審判長による注意があり、競技が開始されました。

競技は学科テストの後、安全走行テストと技能走行テストが行われ、保護者や指導者など観客からの声援を受け、各チーム日々の練習成果を競い合いました。大会の結果は、

**団体……優勝 開成南ビクトリー(開成町) 第2位 チョコマッシュガールズ(山北町) 第3位 開成R·I(開成町)**

**個人……優勝 松澤あすか選手(山北町) 第2位 鈴木里和選手(開成町) 第3位 井上陽愛選手(山北町) でした。**

優勝チームは、来年の「第49回交通安全こども自転車神奈川県大会」に出場する予定です。

## 平成30年使用 交通安全ポスター・デサイン募集

■ 主 催 一般財団法人全日本交通安全協会 每日新聞社  
■ 後 援 内閣府、警察庁等

■ 募集部門

- ☆一般部門A=運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの
- ☆一般部門B=歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの
- ☆子ども部門=中学生以下へ交通安全を呼びかけるもの

■ 応募要領

- 募集期間 平成29年11月下旬～平成30年1月31日消印有効
- 応募資格 一般部門A、B:どなたでも応募可  
子ども部門:中学生以下

● 募集内容

- ① スローガンの使用  
各部門とも、当該部分の「平成30年使用内閣総理大臣賞受賞スローガン(平成29年11月下旬発表予定)」を原文のまま使用する。スローガンの漢字をひらがなに変えたり、句読点や括弧などの付加は審査対象とならない。

② 作品サイズ

一般部門A、B:B2判(728mm×515mm)縦位置のみ  
子ども部門:B3判(364mm×515mm)または四ツ切り画用紙(392mm×542mm)で縦・横位置自由  
※ 障害をお持ちの方で上記作品サイズを描くことが困難な方は、下記までお問い合わせください。

③ 応募点数の制限なし。共同制作も可

④ 自作、未発表の作品に限る。他者の知的所有権を侵害しないこと。無断で他者の作品や顔写真、商品、商標等を作品中に入れないこと。

⑤ パソコンを使った制作、レタリング、イラストレーションの使用や、写真のデザイン化も可

⑥ 制作上の注意

※危険性を訴える目的や抽象化したデザインの場合を除く。

- (1)信号機、標識、標示などは正しく描く
- (2)車内の人物はシートベルトまたはチャイルドシートを着用
- (3)自転車は安全な利用方法で表現(詳細はホームページ)
- (4)自転車はブレーキ等車体を正しく描く

●送り先(応募方法等お問い合わせ先)

〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 每日新聞社事業本部「交通安全ポスター」係  
(電話03-3212-0190 平日午前10時30分～午後5時)

●発表／平成30年3月中旬の毎日新聞紙上とNHKテレビ

●表彰式／平成30年3月26日(月)予定



(29年使用神奈川県伊藤文人さんの作品)

## 《二輪車安全運転指導員への道》

二輪車運転について知識・技能・指導力を有する指導員を養成し、二輪運転者に対する積極的かつ効果的な交通安全教育を推進するため「二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査」を行います。

二輪車のメーカー・販売・修理等の仕事に従事する方々をはじめ、二輪車を愛し、二輪車の快適さ、そして安全運転技能・マインドを、二輪車安全運転指導員としてライダーに伝えたい多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

① 日 時 平成29年10月14日(土)

《養成講習会／8:30～12:10》《資格審査／13:00～17:00》

※養成講習会修了者でなければ、資格審査は受けられません。

② 場 所 神奈川県自動車運転免許試験場

③ 応募資格基準

20歳以上で、二輪免許又は原付免許を持ち、その運転経験が3年以上あり、過去3年以内に行政処分を受けたことがないこと、かつ悪質な交通違反を犯していないこと。その他、指導員としてふさわしい者であること。

※運転記録証明書がないと受講できませんので、必ず持参してください。

④ 内 容

- 養成講習会 ~ 適性検査、学科講習、学科試験
- 資格審査 ~ 実技審査(急制動、パイロンスラローム、一本橋)  
面接審査  
書面審査

⑤ 費 用

- 講習会、資格審査料 ~ 3,500円
- 合格した場合の資格認定料 ~ 3,000円

⑥ 服 装

服装は、二輪車の乗車に適したものとし、ヘルメット、プロテクターを持参してください。(プロテクター借用希望者は、申込用紙所定欄に記載する。)

※1 実技審査は、受験者の持ち込み車両で実施しますが、最終合格の場合、審査時に使用したその車両(原付・普通二輪・大型二輪)以下の二輪運転者の指導が可能となる。

2 申込用紙は二輪車販売店、県交通安全協会にあります。詳細は県交通安全協会ホームページをご覧下さい。



# 身につけよう 命のお守り 反射材

## 交通指導員研修会の実施

交通指導員研修は、交通指導員事業運営要綱に基づいて実施することとされており、各地区で次々と実施しています。

厚木警察署管内交通安全協会では、研修センターに県委嘱の交通指導員と同協会会長・役員が集合し、厚木警察署交担当次長らによる

- 管内の交通事故の発生状況
- 交通指導員の勤務及び留意事項
- 道路交通法の一部改正「準中型免許・高齢者講習関係等」



について講話があり、県交通安全協会配布の資料「高齢者の歩行者事故・自転車事故…その安全指導のポイント」を活用して高齢者交通事故防止に対する指導要領を研修しました。

未実施地区にありますては、是非、計画のうえ実施していただくようお願いします。

## 〈交通安全資機材の紹介〉

県協会では、交通安全教育などに活用していただくため、下表の交通安全資機材等を整備しています。ご利用申し込みをお待ちしております。

名 称 と 特 徴	写 真
<b>《反射材体験BOX》</b> 靴やカバンに取り付ける反射材シールなど各種反射材の効果を確認できる反射材体験BOXで、片手で楽に支えられるほど非常に軽く、持ち運びに便利です。	
<b>《クイックアーム（通称「ミニ点灯くん」）》</b> 持ち運び便利、設定も簡単でゲーム感覚があり、楽しみながら自分の俊敏性、推定年齢を知ることができ、特に高齢者の方にはご自分の肉体の変化を客観的に見る機会を与え、運転する際の注意を促します。	
<b>《高齢者疑似体験セット》</b> お年寄りの身体機能の低下を、おもりのついたスリッパやソーターなどの体験セットで、高齢者の不自由さや気持ちを体験、地域の高齢者に対する接し方や生活環境を考えることができます。	
<b>《自転車シミュレータ（ホンダ）》</b> 身近な場所の走行体験ができ、安全運転に役立つ「ルールやマナーの学習」と「危険予測トレーニング」が楽しく学べる。走行再生機能で2つの視点から確認し、走行内容に応じた結果が表示されます。	

## 新着交通安全DVD（レンタル）の紹介

県交通安全協会では、高齢者事故の増加や自転車利用者の交通ルール無視、マナーの低下による交通事故が多発していることから、これら高齢者や自転車利用者に注意喚起するほか、自動車運転者の視点からも交通事故防止に役立つDVD（10種類10本）を新しく購入しました。

各種交通安全活動、交通安全教室、企業における交通安全講習などにご利用ください。



番号	タ イ ド ル	ジャンル	上映時間
①	見逃すな！ 危険予測のポイント	運転者	23分
②	ドライブレコーダーは見た！ドライバーの心理から考える安全運転	運転者	15分
③	歩行者事故を起こさない運転 ドライバーのためのチェックポイント	運転者	17分
④	潜む危険を予測・回避せよ！ ある会社員の交通事故	運転者	22分
⑤	事故映像と実験に学ぶ・安全運転講座	運転者	15分
⑥	子ども、高齢者、自転車、相手の動きを予測し危険を回避する！	運転者	22分
⑦	シルバー世代のみなさん！ 正しい道路の横断、していますか？	高齢者	18分
⑧	三遊亭小遊三の高齢者の交通安全	高齢者	17分
⑨	自転車の交通安全ガイド	中学生以上	18分
⑩	サヤカの自転車との約束～守ろう：自転車の交通ルール	小学生	18分

# 交通事故の悲劇に学ぶ⑤

## ●「車は凶器になる」 Y・R 防水工(20歳)

ある年の9月、恋人が病気を患い、心配なため私は夜遅くまで起きていました。その日はきちんと寝たのが2時間程度でした。もちろんすごく眠かったのですが、よく居眠り運転をしていたので、仮眠を取ることなく、いつものことと思い、30分程度のところにある実家に向かい、車を運転しました。

しかし、実家まであと1分くらいの見通しの良い直線道路で私は意識を失いました。すると、何か大きな音がして意識を取り戻しました。そこで自分は居眠りをしたのだと気付き、自分の車が破損している事に気付きました。破損していたのは、左側のサイドミラーと左側のガラスでした。

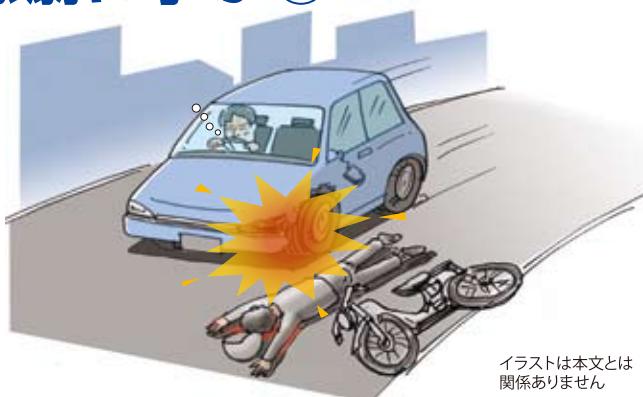
しかし、その現場で何とぶつかったのか確認すれば良かったのに、居眠り運転で電柱にぶつかり、左サイドミラーを破損するという自損事故を以前に起こしたことがあったため、「また電柱かな。」と勝手に思い込んだことや実家まであと1分程度の距離だったため、確認せずに現場を立ち去りました。

そして、実家に着いた後、朝飯を買いにスーパーに向かうため、親の車に乗り換えました。その途中の道で親が「人が倒れとる。バイクが近くにあるからバイクに轢かれたのかな。」と話しました。母親からそう言われても私はすぐには自分のことだと気付かませんでした。

しかし、スーパーに着いたころ、私は自分が轢いたかもしれないという不安が頭をよぎったため、買い物を済ませるとすぐに現場に戻ってもらいました。そこで私が目にしたのは、頭からすごく血が流れて倒れている男性でした。その時には、人も多く、救急車も来していました。

親に事情を話すと、親は警察に連絡してくれました。すると、すぐ警察が来て私と一緒に車の部品か何かが落ちてないか確認したところ、自分の車のと思われるワインカーランプが見つかり、自分の車が轢いたのだと確信しました。私はそのまま警察に現行犯逮捕されました。

被害者の方が亡くなったと聞いたのは逮捕された2日後でした。この知らせを聞き、私は人として一番してはいけない人の命を奪うという罪を犯してしまったと思い、



イラストは本文とは関係ありません

とてもショックでした。ご飯ものどを通り、体重は5kgほど落ちました。

ご遺族の方には謝罪の手紙はすぐ出したのですが、受け取って貰えませんでした。今、改めて思うと、この時は自分のことばかり考えていたかもしれません。

しかし、自動車運転過失致死及び道路交通法違反により懲役2年2月の実刑判決が私に下り、受刑生活の中で教育を受け、ようやくご遺族の目線に立てるようになりました。

改めてご遺族の視点に立ち、今もそしてこれからもご遺族の方はどうぞ悲しい思いをしていくのかを考えると、本当に申し訳ない気持ちで心が病みました。

しかし、私がどれだけ後悔しても被害者の方の命は戻ってきません。ここで初めて車の運転が人の命を奪うこともあるのだと気付きました。私は居眠り運転で何回も命を失いかけそうになりました。それなのに今回の事故を起こすまで、車の運転が人の命を奪うことに気付けなかったことに対し、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。私はもう二度と同じ過ちを犯さないよう今回の事故を一生背負っていく覚悟です。そして、直接謝罪できず、亡くなってしまった被害者の方に毎日お祈りしたいと思います。

これを読んで頂いた方、今一度車の怖さを再認識してみて下さい。そして私みたいな加害者や被害者が出ないよう心から願っています。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行  
「贖いの日々(第51集)」から～

### 賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- 神奈川県東部ヤクルト販売(株)管理部 川崎市高津区千年
- (株)アペックス南関東支社横浜支店 横浜市都筑区川向町
- 平田自動車工業(株) 大和市上和田

# わたらうか 迷う気持ちは 赤信号

この人  
141



野口 一平さん  
(財)伊勢佐木交通安全協会  
会長



## ここにちは 「足柄交通安全協会」です

足柄交通安全協会は昭和23年4月に創立し、今年で69年を迎え、松田警察署管内の1市5町「南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町」を活動エリアとしています。地域的には県西部に位置し、一部山間地域もあり、高齢化率の高い地域となっています。

現状として運転免許証の返納制度を利用される方も多くはなって来ておりますが、公共交通機関の整備や衣食住など、生活上の環境整備は十分とは言えず、高齢者にとって運転免許証はまだまだ必需品の一つとなっています。

しかしながら、それに伴い高齢者が関係する事故も多くなっています。また、南足柄市が今年度自転車交通

本年6月14日に伊勢佐木交通安全協会会长に就任されました野口会長をご紹介します。

会長は、生まれも育ちも地元中区石川町で、現在も同所に在住しております。曾祖父が明治29年に石川町地蔵坂に馬車の内装業を開業し、大正に入り馬車から自動車に転身し、現在は警察、消防、医療関係など特殊車両の車体製造や車の内装を手掛ける会社の4代目社長として活躍されています。

東海大学海洋学部海洋資源学科を卒業後、測量士として就職、その後、父親の跡を継いで現在に至っています。学生時代では、最近話題になった西ノ島新島が昭和48年に噴火した後、49年に初めての調査隊に参加できたことや、北海道広尾のナウマンゾウ発掘隊に参加できたことが思い出として残っているとのことです。

当協会とのかかわりは先代の社長の時に、本社が曙町駿河橋の手前の角にあり、建物前面の壁が車で走ると非常に目立つ場所にあったため、当時の交通安全協会から広報看板設置をしたいとの依頼があり、これを引き受けたのが最初で、その後、様々な標語が何回か表示され、会長は子供のころ「世界の願い交通安全」と書かれていた標語を今でも覚えているそうです。

先々代の当協会会長と交友があり、ある日突然、「車の商売を営んでいるなら交通安全運動に協力しなければだめだらう」と言われて平成8年4月に交通安全協会の理事を引き受けたのがきっかけとなりました。その後、地域交通安全協会推進委員、当協会副会長を歴任して現在に至っております。会長の交通安全活動に対する熱意

や功績が認められ、平成17年には全日本交通安全協会から交通栄誉章緑十字銅章、同じく平成17年に神奈川県警察本部長・神奈川県交通安全協会から感謝状、平成28年に関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長から感謝状が贈呈されております。

現在伊勢佐木地区の交通事故は減少傾向にありますが、中区は高齢者人口1万人当たりの高齢者事故が多く、また近年は自転車の事故や疾病による事故などがあり、特に高齢者の事故に関しては、行政や自動車メーカーも様々な対応を考えています。会長自身、「交通事故は加害者も被害者も悲惨です。警察や地域としっかりと連携協力して1件でも多く減らしていくことが我々交通安全協会の使命です」と話しています。

会長は20年くらい前からある奉仕団体に所属し数々の奉仕活動、ボランティアに参加していますが、一番記憶に残るのは東日本大震災が発生した時にあらゆる支援活動を考え、実施したことだったと話しています。

今後も奉仕活動に参加しつつ、交通事故防止も含め地域がより住みやすい安全な社会になっていくことを目指して頑張っていくと抱負を語っています。

これからも健康に留意され、伊勢佐木地区の交通安全に一層のご尽力と、交通安全協会が交通安全等の活動拠点として少しでも地域に貢献できるよう、会長のリーダーシップに期待したいと思います。

取材協力:伊勢佐木交通安全協会



ております。また、大会に向けての抽選会や事前のコース作り、準備品の用意から当日の大会運営まで松田警察署員ともども汗一杯になりながら丸一日頑張り、大会を無事に行うことができました。

1市5町という多くの自治体を抱える当協会としては、各団体との連絡・調整など大変ではありますが、より一層地域に密着した交通安全運動を展開してまいりたいと思います。

(府川 記)

## 地区交通安全協会の活動紹介



海老名 海老名駅自由通路での二輪車交通事故防止運動



戸塚 戸塚駅前で子供の交通事故防止を呼びかけた



平塚 OSC湘南シティモールでの交通街頭活動



藤沢 小学生を対象にした自転車教室の開催



厚木 819(バイク)の日のキャンペーン

### 街頭活動・安全教育等



中原 武蔵小杉駅前での交通街頭活動



相模原南 警察署前での交通街頭活動



都筑 819(バイク)の日のキャンペーン実施



旭 夏休み交通安全教室の開催



南 二輪車交通事故防止対策

### インフォメーション

- 自転車安全整備制度ブロック会議 10月5日(木)(千葉県)
- 二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査 10月14日(土)(運転免許試験場)
- 二輪車安全運転講習会 10月21日(土)(運転免許試験場)